

H東 コース <大宮東地区>

旧大宮町東地区をめぐるコース

— みどころ —

市街地中心部は、江戸時代には「大宮町」として栄え、今も寺社や石造物など歴史をしのばせるものが数多く残る。市街地に大宮町の歴史をたどる。

みどころポイント 石造物 寺社

スタート

富士宮市役所
弓沢町一五〇

①「大宮町鉄道馬車会社発着所」の碑

②矢立池の碑

③悪王子神社

④二つ石

⑤横道観音

⑥宗心寺

階段を下りる

スタート&ゴール 富士宮市役所 P

コンビニの裏にある

200m

⑬福石神社

⑭蔵屋敷稲荷

⑮神田市神社

⑯中央町のカヤ

ゴール

⑩若之宮 浅間神社

⑪大宮 縄状溶岩

⑫御神幸道 三丁目の碑

⑧大頂寺

⑨馬車道

⑦平等寺

距離：約5km 所要時間：約2時間

マークの凡例： 観察ポイント ● 説明板 ▲ トイレ 駐車場 P 寺院 神社
 石造物 湧水 ルート —

— コースのみどころ —

①「大宮町鉄道馬車会社発着所」の碑

富士馬車鉄道大宮町発着所跡である。富士馬車鉄道は、明治23年(1890)東海道線すずかわ鈴川駅(現JR吉原駅)～大宮町間に開通し、大正末年まで運行した。

②やたていけ矢立池の碑

富士の巻狩のおり、源頼朝が矢を射立てた所から泉が湧き出したという伝説から「矢立池」と呼ばれる。現在、池はない。

③あくおうじ悪王子神社

富士山の噴火を鎮める火之御子神を祀る。あこうじ阿幸地地区の氏神で、「悪」は「強い」を意味する。

④ふた いし二つ石

富士の巻狩のおり、源頼朝が馬に乗るときに踏み台にした石だという。

⑤横道観音

地元では「よこみち観音」と呼ぶ。富士横道観音霊場巡りのひとつだと考えられるが、現存する『富士横道観音御詠歌』には歌われていない。

⑥そうしんじ宗心寺

富士山より降臨したという伝承を持つ阿弥陀三尊像を本尊とする。富士横道観音霊場巡りの第一番札所「宗心寺観音堂」がある。

⑦びやうどうじ平等寺

ここには、大宮小学校の前身である「がくろくどう岳麓洞」が最初に置かれた。

⑧だいちょうじ大頂寺

廃仏毀釈により富士山頂上から降ろされたとされる大日如来坐像が伝わっている。また、幕末

にまんのほら万野原の開発などを行ったかくたおうがく角田桜岳(佐野与市)の記念碑がある。

⑨馬車道

明治から昭和初期に市中心部～市北部間に運行した馬車鉄道「富士軌道」の軌道敷跡である。

⑩わかのみや若之宮浅間神社

浅間大社祭神の第一御子神(若宮)を祀る。

⑪おおみやなわじょうようがん大宮縄状溶岩

市指定天然記念物。溶岩が冷えて収縮する際、縄のような形になったものである。

⑫ごしんこうみち御神幸道三丁目の碑

かつて浅間大社と山宮浅間神社を祭神が往復する「山宮御神幸」が行われ、その道筋には浅間大社から1丁(約109m)毎に「丁目石」が置かれた。

⑬ふくいし福石神社

毎年7月末日に「茅の輪くぐり」が行われ、「わくぐりさん」と呼ばれている。

⑭くらやしき蔵屋敷稲荷

戦国時代、浅間神社(現富士山本宮浅間大社)大宮司富士氏居館の蔵屋敷に祀られていた稲荷社だといわれている。

⑮かんだいち神田市神社

「市神さん」と呼ばれる商いの神様で、大正11年(1922)、商店街の発展を願って現在地に祠がつくられた。

⑯ちゅうおうちょう中央町のカヤ

市指定天然記念物。江戸時代初期に植えられたというカヤの大樹である。